

AI による産業革新研究会 2019 年度活動概要

1. 研究会の趣旨、目的

近年、技術革新は世界的に加速度的な進化を続けており、産業にとどまらず社会構造にも大きな変化をもたらそうとしている。とりわけ AI は、きわめて広範で重大な変革を人類社会にもたらす可能性がある。

このような状況の下、AI は、産業の価値創造プロセスも大きく変える可能性があり、企業をめぐる様々なデータの価値を大きく高めている。単に企業の生産性向上にとどまらず、新事業の創出や新たなビジネスモデルの構築など産業の革新、展開のために、データの解析結果を賢く利活用することが必須の時代となっている。

他方、今までのところ、日本の多くの企業においては、AI やデータサイエンスを活用したビジネスプロセス自体の変革や新たなビジネスモデルの創出まで踏み込んだ事業革新が顕著に進んでいるとは認められない。また、その背景として、経営者からマネジメントレベルまで AI 及びデータ活用の重要性についての意識や行動力が十分高いとはいえない状況や AI による革新を素早く実行できない企業の組織やマネジメントの問題があるとの指摘もある。

製品・サービスなどリアルと結び付いた AI・データサイエンスの利活用は、今後国内外の様々な事業分野で急速に立ち上がっていくと予想される。このような大きな変革期にある今、我が国は AI の本質を十分把握した上でスピード感をもって AI・データサイエンスの利活用による産業の革新及び価値創造に取り組んでいくことが重要である。

本研究会においては、最初に AI の急速な進化、ユビキタス化が産業のみならず経済、社会、文化などに及ぼす広範で重大な影響を幅広く分析、考察して、AI の本質について理解を深めたい。次にそのような理解を踏まえた上で、AI・データサイエンスの利活用による産業

革新の実現に向けて、我が国において今後新たにどのような分野でどのようなビジネスが創出される可能性や期待があるかを示していきたい。

【深めたい論点等】

- ・ AI 等先進技術の動向とそれらの進化の見通し
- ・ AI の進化とユビキタス化がもたらす変革の影響、インパクト
(経済、社会、文化、倫理、価値観、思考、意思決定などへの implication)
- ・ AI による産業革新の様々な可能性及び先進事例研究
- ・ AI・データサイエンスの利活用による新たなビジネス創出の可能性及び課題

2. 開催状況

第1回

日 時：2019年9月27日

講 師：馬奈木 俊介 氏（九州大学主幹教授・都市研究センター長）

テーマ：AI 経済学

第2回

日 時：2019年11月6日

講 師：市川 類 氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所 臨海副都心センター 所長
情報・人間工学領域 人工知能研究戦略部長）

テーマ：人工知能技術と産業革新

第3回

日 時：2019年12月6日

講 師：鈴木 寛 氏（元・文部科学副大臣、前・文部科学大臣補佐官）

テーマ：AI 時代の教育